

ジュニアリーダー養成講習会閉講式



中央公民館で第11回ジュニアリーダー養成講習会（閉講式）が実施されました。

講習会では、川越市の小林英二先生とユースリーダーを講師にお招きし、「ジュニアリーダーに望むもの」についてお話いただきました。講演会後に行われた閉講式では、育成会長から修了証が手渡され、育成会役員や教育長から暖かいお祝いの言葉をいただきました。今後、講習会で学んだ貴重な経験をいかし、地域活動や学校生活で活躍されることを期待しております。

【2月5日】

ベースボールチャレンジ開催！

長瀬第二小学校で埼玉西武ライオンズによるベースボールチャレンジが開催され、3～6年生を対象に高橋朋己・白崎浩之両コーチによる（投げる・捕る指導とミニゲーム）が行われました。



町はライオンズとフレンドリーシティであり、今後も、スポーツ振興や青少年の健全活動など、様々な分野での協働が期待されます。

【2月13日】

町内小中学校の机を抗ウイルス天板に交換しました

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、町内全小中学校の学習機の天板を「抗ウイルス天板」に交換しました。

校内における感染防止効果が見込まれるとともに、サイズも現在と比べ広くなり、教科書やノート、タブレット端末を同時に置いて授業が受けやすくなりました。

その他、町では同交付金を活用し、教室へのプロジェクター設置、図書システムの導入、特別教室の机の抗ウイルステーブルへの入替えや抗菌カーペットへの張替、CO₂測定器やサーキュレーターなどの備品購入等を実施しています。



交換前



交換作業



交換後

宝くじの助成金で太鼓等を整備しました

（一財）自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している「コミュニティ助成事業」を活用し、辻区では、伝統文化の継承、世代間交流の推進を図るため、地域のお祭りなどで使用する太鼓や篠笛を整備しました。



03

町長コラム

少子化に思うこと



4月から「こども家庭庁」が発足しました。少子化問題は30年も前から言われ続けてきましたが、国は、ここに来てやっと事の重大さに気がついたのでしょうか。我が町では今日まで「妊娠、出産から子育て支援」と切れ目のない政策を進めてきましたが、少子化に歯止めがかからず、令和2年度29人、令和3年度26人、令和4年度は20人に満たないという出産状況です。未婚化も、子どもが増えない要因となっていると思います。この3年間はコロナ禍で婚活もできませんでしたので、これも影響したかもしれません。

過日のNHK「日曜討論」は少子化についてでしたが、出席された議員の顔ぶれを見て違和感を覚えました。全員が男性なのです。しかも子育て世代の男性は一人も居ません。せめて半分は女性を入れるべきではないか。日本の政治の本質を見たなと思いました。世界146ヶ国中女性登用が116位の日本、すべての女性が結婚し子どもを持ってもバリバリ働ける、そんな社会が構築される国になるのはまだまだ先のようなです。

感謝

「此の議事堂にふさわしい議員を得るは いつの日ならん」 尾崎行雄（議会政治の父）